

# 体験型講演会

講師がわかりやすくレクチャー！  
実際に体験していただきます

講師

小早川修(シテ方観世流能楽師)  
山本則重(狂言方大蔵流能楽師)

聞いて見て謡う

# 能と狂言の魅力

# No & Kyogen

2018年  
11月6日(火)座・高円寺2  
開演16時(開場15時30分)  
【入場料】¥2000(全席自由)

JR中央線「高円寺」駅北口から徒歩5分

### 【チケットのお問い合わせ・お申し込み】

チラシ裏面のチケット申込書に必要事項をご記入のうえ、杉並文化村事務局まで、郵送(はがき記載可)またはFAXにてお送りください。

- NPO杉並文化村事務局：〒166-8577 杉並区阿佐谷南3-35-21リボン館内 FAX03-5397-7772 ☎03-5397-5503
- 杉並区役所1Fロビー・コミュかるショップ

【車椅子ご利用のお客様】 今回の講演では車椅子のままご観劇いただける車椅子席をご用意できませんことを予めご了承ください。  
なお、ご了承のうえご来場の方には一般席へのご案内をサポートさせていただきます。

※未就学児童入場不可

### 主催：NPO杉並文化村 協力：あさがや能・狂言の会

後援：杉並区／杉並区教育委員会／杉並区交流協会／杉並区社会福祉協議会／(株)細田工務店／アサヒ飲料(株)／サントリービバレッジソリューション(株)  
ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)／ダイドードリンク株式会社／ジュンコ・アソシエーション／アジア婦人友好会／杉並子ども未来委員会  
協賛：(株)エムエヌケイ／(株)カネコ／セイキ工業(株)／東洋住宅センター(株)／(株)富岡測量設計事務所／牧野電設工業(株)／みらい設計(株)／(株)ユカ



# オリンピックを控え 自国の文化・伝統・情緒にもこよない愛情を

能・狂言は、日本人の叡智と美意識が凝縮した  
650年以上続く日本独自の演劇で、世界からも注目を集めています。  
その面白さと魅力について  
実際に「面」「装束」「囃子」「カマエ」「ハコビ」  
「声の出し方」「舞」「所作」等を  
体験していただきながらご紹介して参ります。

体験型講演会  
聞いて見て謡う  
能と狂言の魅力

Nō & Kyōgen

PROFILE



**小早川 修 (こばやかわ おさむ)**  
シテ方観世流能楽師。1961年 小早川泰士の孫として生まれる。祖父及び浅見真高に師事。1986年 東京藝術大学大学院修士課程能楽専攻修了。国内外の演能活動の他、教員・学生・子ども向けに広く普及活動を行っている。観世会・鏡仙会・能楽協会・日本能楽会会員 (重要無形文化財総合指定保持者)



**山本 則重 (やまもと のりしげ)**  
狂言方大蔵流能楽師。1977年山本則俊の長男として生まれる。父及び伯父の山本東次郎に師事。「三番三」「釣狐」「花子」を抜く。能楽協会・日本能楽会会員 (重要無形文化財総合指定保持者)。

能とは

その昔、奈良・平安時代から庶民の間で親しまれてきた歌舞音曲や神への奉納の舞が集大成された、仮面歌舞劇です。能となったのは、鎌倉時代後期から室町時代前期と言われます。民衆の芸能が、室町時代に盛んになった禅宗や水墨画などの影響を受け、また、幕府や貴族階級に保護されて、洗練されていきました。

能の大成者、世阿弥(ぜあみ)は、日本の演劇史上、最も重要な人物のひとりです。世阿弥が、独自の芸術論である『風姿花伝』を著したのは、シェークスピアが登場する200年近くも前のこと。その芸術論は、現在でも、思わぬところで私たちの生活に影響を及ぼしています。能の特徴は、シンプルさにあります。能が演じられる能舞台は、歌舞伎や現代の演劇などとは異なり、大がかりな舞台セットや小道具などが置かれているわけではありません。また、幕で舞台と客席とが遮断されず、開かれた空間になっています。



狂言とは

狂言は対話を中心としたせりふ劇です。大がかりな舞台装置は一切用いず、言葉やしぐさによってすべてを表現します。狂言の大きな特徴は「笑い」。中世の庶民の日常や説話などを題材に、人間の習性や本質をすどく切り取って、大らかな「笑い」や「おかしみ」にしていまいます。狂言の典型的なキャラクター「太郎冠者(たろうかじや)」を始め、様々な登場人物たちが織りなす物語。そこに描かれているのは現代にいたるまで変わらない、普遍的な人間の姿です。狂言は中世を通じて、能と交互に同じ舞台上で演じられてきました。歌舞を中心とした優美な象徴劇、能に対し、写実的な演技によって、滑稽に人間の姿を描く喜劇、狂言。両者は互いに切っても切り離せない関係を保っています。現在、能と合わせてユネスコの「無形文化遺産」に登録され、歴史的な、また現代に生きる演劇としての価値が、国内外を問わず広く認められています。



## チケット申込書

### 第74回チャリティー杉並文化フォーラム

フリガナ			
お名前			
〒	□□□	-	□□□□
ご住所			
電話番号			

該当する方に○を付けてください

杉並文化村 村民

一般

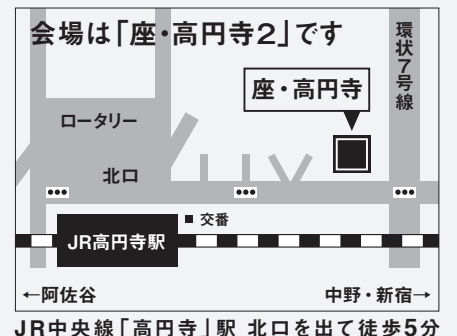
紹介者(チラシ入手先)

枚数

枚

チケットご希望の方は左記にご記入の上、03-5397-7772にFAX、または郵送(ハガキ記載可)にてお送りください。

【NPO杉並文化村事務局】  
〒166-8577  
杉並区阿佐谷南3-35-21 リボン館内  
申込書受付確認後、郵便局の払込取扱票(手数料無料)をお送りいたします。ご入金確認後チケットを郵送いたします。



**【車椅子ご利用のお客様】** 今回の講演では車椅子のままご観劇いただける車椅子席をご用意できませんことを予めご了承ください。なお、ご了承のうえご来場の方には一般席へのご案内をサポートさせていただきます。